

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 2022年8月期 | 1,920,000株 | 2021年8月期 | 1,920,000株 |
| 2022年8月期 | －株 | 2021年8月期 | －株 |
| 2022年8月期 | 1,920,000株 | 2021年8月期 | 1,920,000株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 貸借対照表 | 4 |
| (2) 損益計算書 | 6 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 7 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (持分法損益等) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |
| (1株当たり情報) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2021年9月1日~2022年8月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種の進展により、一時持ち直しの動きが見られたものの、新たな変異株の出現・拡大するなどから、一進一退を繰り返す状況が続きました。

さらに、長期化するロシア・ウクライナ情勢の影響による資源価格やエネルギー価格の高騰、日米の金利差拡大を背景とした急激な円安進行による物価上昇圧力の高まりなども加わり、今後、消費マインドに、どう影響を与えるか不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境が続くと思われま

す。このような状況のもと、農業生産者や消費者、各企業の皆様をつなぐサービスを創出し提供する企業を目指して、中期経営計画のもと、事業領域の拡大と持続的成長のための機能・基盤強化の戦略に取り組んでまいりました。

営業概況としては、原材料・エネルギー価格の高騰を初めとする断続的な仕入価格の上昇などの影響により、全体として厳しい展開を強いられる中、当社の主力サービスであるストア販売部門は、プロモーション戦略を発揮すると同時に、新規出店や一部店舗の業態変更など、積極的且つ機動的に営業展開を行ったことにより、売上高は堅調に推移しました。

農産流通部門は、米の集荷数量増加に向け福島県の県中・県南及び会津エリアへの積極展開を行いました。

しかしながら、「巣ごもり消費」によるインターネットの米販売の増加が見られた一方で、コロナ禍において、飲食店等の営業時間短縮要請や訪日外国人のインバウンド減により、業務用米の需要は低迷し、米相場も下落したことから、売上高に影響いたしました。

FDC・インターネット販売部門は、消費財や農業関連商品等の価格の上昇があったものの、同業他社に比しての価格優位性の発揮とプロモーションの効果により、販売は堅調に推移しました。

その他は、太陽光発電事業に係る発電設備を、2021年10月8日に売却したことにより、売電収入が減少いたしました。

収益面においては、仕入価格の上昇圧力が高まる中、在庫コントロールの強化と当社の強みでもあるDC型(ディストリビューション型)物流管理体制の効率的運用の効果により、一定の収益を確保することができました。また、太陽光発電事業に係る発電設備の売却等による特別利益178,145千円を計上しております。

これにより、ストア販売部門は9,643,238千円(前年同期比2.4%増)、農産流通部門は1,155,038千円(同25.3%減)、FDC・インターネット販売部門は916,455千円(同16.6%増)、その他は7,240千円(同82.1%減)となりました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は、売上高11,721,971千円(前年同期比0.5%減)、営業利益200,910千円(同10.0%増)、経常利益190,356千円(同14.3%増)、当期純利益228,449千円(同40.1%増)となりました。

当社の報告セグメントは「アグリソリューション事業」のみであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は3,784,990千円で、前事業年度末に比べ663,931千円増加いたしました。現金及び預金の増加208,427千円、商品の増加444,450千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は1,807,764千円で、前事業年度末に比べ141,311千円減少いたしました。有形固定資産の減少113,417千円、投資その他の資産の減少19,199千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は3,095,551千円で、前事業年度末に比べ494,032千円増加いたしました。短期借入金の増加200,000千円、1年以内償還予定の社債の増加100,000千円、未払法人税等の増加90,450千円、買掛金の増加80,236千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は1,945,812千円で、前事業年度末に比べ180,662千円減少いたしました。社債の減少48,000千円、長期借入金の減少185,029千円、資産除去債務の増加45,506千円が主な変動要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は551,390千円で、前事業年度末に比べ209,249千円増加いたしました。当期純利益228,449千円による利益剰余金の増加が主な変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は前事業年度末に比べ 209,239 千円増加し、1,048,432 千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは 55,245 千円の収入(前年同期は 233,225 千円の収入)となりました。税引前当期純利益 363,012 千円、固定資産売却益 178,145 千円、棚卸資産の増加額 457,910 千円の計上が主な変動要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは 119,222 千円の収入(前年同期は 287,498 千円の支出)となりました。有形固定資産の売却による収入 337,527 千円、有形固定資産の取得による支出 223,803 千円が主な変動要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは 34,770 千円の収入(前年同期は 150,467 千円の収入)となりました。短期借入金の純増加額 200,000 千円、長期借入金の純減少額 197,967 千円、社債の純増加額 52,000 千円が主な変動要因であります。

(4) 今後の見通し

次期会計年度においては、新型コロナウイルス感染症に係る影響、ロシア・ウクライナ情勢の深刻化、急激な円安進行、原材料・エネルギー価格の高騰など、当社を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

こうした環境の中、当社は、事業領域の拡大と持続的成長のための機能・基盤強化を推し進め、垂直統合の進展による収益力強化と組織の進化を目指し、取り組んでまいります。

これを踏まえ、次期会計年度については、当社事業の基軸であるストア販売部門を中心とした各販売部門において、プロモーション戦略の発揮と積極的且つ機動的な営業展開による更なる業容の拡大を目指します。

一方、仕入価格の上昇、電気料金単価高騰といった外的要因によるコスト増加の圧力が続くものと予想される中、機能・基盤強化を推し進めるため、人的資産の開発と活用に向け人件費等を戦略的に投入する計画であり、管理コストは一定程度増加するものと予想しております。

以上により、2023年8月期の業績予想につきましては、売上高 12,358 百万円(前年同期比 5.4%増)、営業利益 146 百万円(同 27.2%減)、経常利益 133 百万円(同 29.8%減)、当期純利益 89 百万円(同 61.0%減)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響や急激な円安進行、原材料・エネルギー価格の高騰など、外部環境が変化する中、現時点において当社が把握している情報をもとに算出いたしました。

しかし、こうした状況が将来にわたって経済にもたらす影響は不確実性が高く、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項がありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準 (I F R S) の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向を踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年8月31日) | 当事業年度 (2022年8月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 964,955 | 1,173,383 |
| 売掛金 | 108,784 | 123,265 |
| 商品 | 1,754,801 | 2,199,251 |
| 貯蔵品 | 14,708 | 21,421 |
| 前払費用 | 38,820 | 40,370 |
| 未収入金 | 190,383 | 205,352 |
| 未収消費税等 | 26,302 | — |
| その他 | 24,951 | 24,824 |
| 貸倒引当金 | △2,648 | △2,877 |
| 流動資産合計 | 3,121,059 | 3,784,990 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,277,596 | 1,381,427 |
| 構築物 | 362,269 | 335,499 |
| 機械装置 | 346,229 | 199,467 |
| 車両運搬具 | 216,876 | 242,738 |
| 器具及び備品 | 602,881 | 606,762 |
| 土地 | 590,506 | 627,742 |
| 建設仮勘定 | — | 13,264 |
| その他 | 11,611 | 9,118 |
| 減価償却累計額 | △1,626,699 | △1,748,165 |
| 有形固定資産合計 | 1,781,271 | 1,667,854 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 9,535 | 9,535 |
| ソフトウェア | 27,362 | 18,686 |
| その他 | 72 | 54 |
| 無形固定資産合計 | 36,970 | 28,276 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 16,225 | 4,684 |
| 差入保証金 | 111,637 | 104,779 |
| その他 | 2,970 | 2,170 |
| 投資その他の資産合計 | 130,833 | 111,633 |
| 固定資産合計 | 1,949,075 | 1,807,764 |
| 資産合計 | 5,070,134 | 5,592,754 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年8月31日) | 当事業年度 (2022年8月31日) |
|----------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 14,025 | — |
| 電子記録債務 | 147,484 | 149,564 |
| 買掛金 | 830,701 | 910,937 |
| 短期借入金 | 800,000 | 1,000,000 |
| 1年以内償還予定の社債 | 148,000 | 248,000 |
| 1年以内返済予定の長期借入金 | 435,216 | 422,278 |
| 未払金 | 157,191 | 168,223 |
| 未払法人税等 | 21,188 | 111,639 |
| 未払消費税等 | 9,654 | 38,035 |
| 預り金 | 18,388 | 18,000 |
| 賞与引当金 | 15,000 | 18,121 |
| その他 | 4,668 | 10,752 |
| 流動負債合計 | 2,601,518 | 3,095,551 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 438,000 | 390,000 |
| 長期借入金 | 1,543,584 | 1,358,555 |
| 繰延税金負債 | 20,751 | 20,787 |
| 退職給付引当金 | 18,724 | 22,548 |
| 資産除去債務 | 102,807 | 148,314 |
| その他 | 2,607 | 5,607 |
| 固定負債合計 | 2,126,475 | 1,945,812 |
| 負債合計 | 4,727,993 | 5,041,364 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 30,000 | 30,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 66,000 | 66,000 |
| 資本剰余金合計 | 66,000 | 66,000 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 5,968 | 5,968 |
| その他利益剰余金 | | |
| 特別償却準備金 | 44,747 | 35,798 |
| 繰越利益剰余金 | 195,425 | 413,624 |
| 利益剰余金合計 | 246,140 | 455,390 |
| 株主資本合計 | 342,140 | 551,390 |
| 純資産合計 | 342,140 | 551,390 |
| 負債純資産合計 | 5,070,134 | 5,592,754 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日) | 当事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 11,786,079 | 11,721,971 |
| 売上原価 | 9,506,070 | 9,342,483 |
| 売上総利益 | 2,280,008 | 2,379,487 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,097,326 | 2,178,576 |
| 営業利益 | 182,682 | 200,910 |
| 営業外収益 | | |
| 手数料収入 | 5,067 | 5,113 |
| 駐車場収入 | 9,143 | 9,506 |
| 雑収入 | 8,131 | 7,691 |
| その他 | 117 | 89 |
| 営業外収益合計 | 22,459 | 22,401 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 37,266 | 29,918 |
| その他 | 1,354 | 3,036 |
| 営業外費用合計 | 38,620 | 32,955 |
| 経常利益 | 166,521 | 190,356 |
| 特別利益 | | |
| 保険金収入 | 81,908 | — |
| 固定資産売却益 | 1,556 | 178,145 |
| 特別利益合計 | 83,465 | 178,145 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 356 |
| 固定資産除却損 | 14,409 | 0 |
| 災害損失 | 1,756 | 127 |
| その他 | 5,464 | 5,005 |
| 特別損失合計 | 21,630 | 5,489 |
| 税引前当期純利益 | 228,357 | 363,012 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,777 | 134,526 |
| 法人税等調整額 | 19,489 | 35 |
| 法人税等合計 | 65,267 | 134,562 |
| 当期純利益 | 163,089 | 228,449 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | | 株主資本 合計 | 純資産 合計 |
|------------|--------|-----------|-----------------|-----------|--------------|-------------|-----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益 準備金 | 利益剰余金 | | 利益 剰余金 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | 資本 剰余金 合計 | | その他 利益剰余金 | | | | |
| | | | | | 特別償却 準備金 | 繰越利益 剰余金 | | | |
| 当期首残高 | 30,000 | 66,000 | 66,000 | 5,968 | — | 90,522 | 96,490 | 192,490 | 192,490 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △13,440 | △13,440 | △13,440 | △13,440 |
| 当期純利益 | | | | | | 163,089 | 163,089 | 163,089 | 163,089 |
| 特別償却準備金の積立 | | | | | 44,747 | △44,747 | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | 44,747 | 104,902 | 149,649 | 149,649 | 149,649 |
| 当期末残高 | 30,000 | 66,000 | 66,000 | 5,968 | 44,747 | 195,425 | 246,140 | 342,140 | 342,140 |

当事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | | 株主資本 合計 | 純資産 合計 |
|------------|--------|-----------|-----------------|-----------|--------------|-------------|-----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益 準備金 | 利益剰余金 | | 利益 剰余金 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | 資本 剰余金 合計 | | その他 利益剰余金 | | | | |
| | | | | | 特別償却 準備金 | 繰越利益 剰余金 | | | |
| 当期首残高 | 30,000 | 66,000 | 66,000 | 5,968 | 44,747 | 195,425 | 246,140 | 342,140 | 342,140 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △19,200 | △19,200 | △19,200 | △19,200 |
| 当期純利益 | | | | | | 228,449 | 228,449 | 228,449 | 228,449 |
| 特別償却準備金の取崩 | | | | | △8,949 | 8,949 | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | △8,949 | 218,199 | 209,249 | 209,249 | 209,249 |
| 当期末残高 | 30,000 | 66,000 | 66,000 | 5,968 | 35,798 | 413,624 | 455,390 | 551,390 | 551,390 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日) | 当事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 228,357 | 363,012 |
| 減価償却費 | 238,767 | 217,858 |
| 移転補償金 | △81,908 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △106 | 229 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △5,000 | 3,121 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 132 | 3,824 |
| 受取利息及び受取配当金 | △16 | △11 |
| 支払利息 | 37,266 | 29,918 |
| 固定資産売却益 | △1,556 | △178,145 |
| 固定資産除却損 | 14,409 | 0 |
| 固定資産売却損 | — | 356 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 33,596 | △14,480 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △89,241 | △457,910 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △36,117 | △14,969 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 14,039 | 68,291 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △54,015 | 54,682 |
| その他 | △34,290 | 53,451 |
| 小計 | 264,316 | 129,229 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16 | 11 |
| 利息の支払額 | △37,266 | △29,918 |
| 法人税等の支払額 | △75,749 | △44,076 |
| 補償金の受取額 | 81,908 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 233,225 | 55,245 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,204 | △1,201 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △277,269 | △223,803 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,180 | 337,527 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,600 | △3,158 |
| その他 | △8,606 | 9,858 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △287,498 | 119,222 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 100,000 | 200,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,200,000 | 550,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,086,155 | △747,967 |
| 社債の発行による収入 | 100,000 | 200,000 |
| 社債の償還による支出 | △148,000 | △148,000 |
| 配当金の支払額 | △13,440 | △19,200 |
| その他 | △1,937 | △62 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 150,467 | 34,770 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 96,194 | 209,239 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 742,998 | 839,193 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 839,193 | 1,048,432 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は、売上時に付与した他社ポイントについて、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、顧客から受け取る額から取引先へ支払う額を控除した純額で収益を認識する方法へ変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当事業年度の売上高が26,378千円減少し、販売費及び一般管理費は26,378千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益への影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高についても影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる財務諸表への影響はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の報告セグメントは「アグリソリューション事業」のみであり、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| 前事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日) | | 当事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日) | |
|--|---------|--|---------|
| 1株当たり純資産額 | 178円19銭 | 1株当たり純資産額 | 287円18銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 84円94銭 | 1株当たり当期純利益 | 118円98銭 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日) | 当事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日) |
|---|--|--|
| 当期純利益(千円) | 163,089 | 228,449 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 163,089 | 228,449 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,920,000 | 1,920,000 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。